

吃音講習会の中止のお知らせ

第9回 親、教師、言語聴覚士のための吃音講習会
どもる子どもとの対話 ～健康生成論的アプローチ～

吃音は、未だに原因も解明できず、有効な治療法も開発されていません。そうした中で、私たちは子どもたちと吃音について学び、吃音のこと、どもる自分のこと、日常生活での苦戦にどう対処するかなどについて、対話を続けてきました。

今、大災害などによるトラウマやストレス、先の見えない不安などに対し、これまでの病気の原因を追及し、原因を除去することで病気を治す「疾病生成論」の考えでは立ち行かなくなりました。そこで、大変な状況の中でも健康に生きる人の要因を探る「健康生成論」が注目されています。健康状態を維持し続けた人々に共通していたのが、「把握可能感(わかる)」、「処理可能感(できる)」、「有意味感(意味がある)」の感覚でした。この三要素がバランスよく発達することが、重要だと指摘されています。どもる子どもがこれからのストレスが多い社会を生き抜くには、この3つの感覚を育てることが大切だといえるでしょう。ことばの教室や言語指導室での新しい吃音の臨床の展望を、健康生成論によって探っていきたいと考えています。また、子どもとの対話、レジリエンス、ナラティブ・アプローチ、当事者研究など、これまでの講習会で考えてきたことを、初めての方が理解できるように、丁寧に整理していきます。どもる子どもと一緒に取り組める、楽しくそして豊かな実践を、みなさんと考えていきましょう。

◇日時 2020年7月25・26日(土・日)
◇場所 愛知県岩倉市総合体育文化センター

この日程で開催予定していた吃音講習会を、新型コロナウイルスの影響で中止することになりました。その他の伊藤の今年の予定もほぼ、中止か延期になりました。これまで考えてきたことを整理し、まとめていく時間を与えられたのだと思い、ブログ、Twitter、Facebookで発信しています。日本吃音臨床研究会のホームページのトップページに、Facebookが埋め込まれています。5月から1日も欠かさず、更新しています。ご覧下さい。

どうぞ、コロナ対策と、熱中症対策を怠りなく、お元気でお過ごし下さい。

2020年6月24日

日本吃音臨床研究会 伊藤伸二